

成長した1年間

園長 柿原直昭

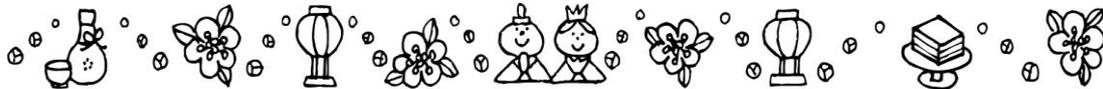
少しずつ寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。

4月、子供たちと出会った頃は、「～しますよ」「次は～です」という声掛けをしていた先生が今では、黙って子供たちを見守っています。子供の成長は大人の予想を上回ってきます。子供たちは登園してから、降園するまで見通しをもって動けるようになったのです。作品を作れば創造力豊かな作品を仕上げ、歌を歌えば元気な歌声を披露し、園庭で遊べばあふれんばかりの笑顔で体を動かしています。我々教職員はそんな子供の成長を間近で感じられる特別な職業だと改めて実感しました。また、3月14日(水)の幼保小中交流会では幼稚園での保育を賞賛され、励みにもなり自信となりました。多数のご参観ありがとうございました。

年長そら組は、それぞれの小学校に進学します。きっと、本園で学んだことを小学校で生かし、楽しい学校生活を送ることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、1年間、本園の教育活動にご理解ご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

本園は来年度いっぱい閉園となります。「今日が楽しく、明日もうれしい南三幼」であるように、全力で楽しんでいきます。子供たちのために、変わらぬご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。



1年を振り返って…

保護者の皆様のあたたかな支えのおかげで子供たちは安心して毎日を過ごし、心優しく、伸びやかに成長することができていると感じます。やりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ姿、少し難しいことにも挑戦しようとする姿、友達のことを思いやりそっと手助けしたり声を掛けたりする姿、友達と力を合わせて取り組む真剣な姿など、子供たちの素晴らしい姿にたくさん出会うことができました。

3月はぜひ、4月の進級・就学を見据えて、子供たちの成長、自立に向けた後押しと応援をお願いします。そして、修了・終業の日はもちろんのこと、日々の生活の中においても、子供たちの成長や変化を再発見し、親子で成長を喜び合っていたいだきたく思います。私たちも同じ気持ちで、一日一日を大切に年度末までの保育を進めてまいります。

★3月の保育のねらい★

<年中>・進級することへの期待を感じながら生活を進める中で、様々なことに意欲的に取り組み、自信をもって過ごす。

・自分の思いを伝えたり相手の思いに気付いたりしながら一緒に遊びを進めようとする。

<年長>・友達と共に過ごす喜びを感じながら生活を進める中で、一人一人が自分の力を発揮する。

・周りの人に感謝の気持ちを持ち、修了や就学への喜びを感じたり、期待を膨らませたりする。